

平成 31 年 度(令和元年度)

事 業 報 告 書

社会福祉法人 秋田市社会福祉協議会

平成31年度（令和元年度）事業報告書

平成から令和へ元号の改正が行われ、新しい元号に対応した様式等の書類を整備しました。

5月には、飯島南地区社協が設立され、秋田市内39の地区社協となったことから、住民主体の地域福祉活動の更なる推進を図りました。

また、5カ年計画である秋田市地域福祉アクションプラン2019（秋田市地域福祉活動計画）がスタートし、ボランティアセンターの機能強化を図るための運用システムを導入したほか、権利擁護支援体制の構築に向けて日常生活自立支援事業と成年後見制度の利用を一体的に支援するための権利擁護センターの設置について検討しました。

2月16日から翌17日にかけての大雨により茨島地区で13棟の浸水被害が発生したことに伴い、ボランティアセンターではボランティアを募集し、同20日より浸水世帯への支援活動を行いました。

新型コロナウイルスの発生に伴い、本会では職員に対し、手洗い・うがい、窓口でのマスク着用、窓口カウンターでの消毒、不要不急の外出の回避、発熱がある場合の出勤自粛などの感染予防措置を講じたほか、介護サービス利用者の検温確認、当分の間の会議等の可能な限りの自粛、貸出事業における貸出前と返却後の消毒の徹底などの対策を講じ、感染拡大防止に努めたところです。

さらに、新型コロナウイルスの影響により収入減少があった世帯を対象に生活福祉資金緊急小口資金等の特例貸付が3月25日から全国で開始され、本会においても対応職員の増員や相談窓口の拡大など、相談体制を強化し円滑かつ迅速な対応に努めました。

その他、平成31年度（令和元年度）事業計画に対する取り組みについては、別紙のとおり報告します。

1 小地域福祉活動の推進

(1) 見守りネットワーク事業 ※ () 内は前年度実績

・各地区社協、地区民児協をはじめとして町内会長、福祉協力員等との連携を図り、地域内の見守りが必要な高齢者世帯等への見守り・声かけ活動や安否確認等を行い、孤立化を予防するとともにニーズや緊急事態の早期発見に努めた。

実施地区	39地区	(38)
------	------	------

・「見守りネットワーク事業の手引き」を活用し、見守り体制の充実を図った。

(2) 救急医療情報キット事業（安心キット事業）

- ・各関係機関や見守りネットワーク事業と連携しながら、安心キット事業の更なる推進を図った。
- ・安心キットの設置世帯数 13,588 世帯（平成 30 年度末）
- ・安心キットの活用件数 26 件（令和元年 1 月～12 月、秋田市消防本部から情報提供）
- ・安心キットの新しい保管方法について検討した。
- ・各地区社協に安心キットのアンケートを実施した。
- ・安心キットの啓発に努めた。（障がい者のためのくらしのしおり、暮らしに役立つサービス等）

(3) 車両・除雪・災害関連用品等の貸出 ※ () 内は前年度実績

・地区社協、町内会等の各団体に対して、行事・イベントの開催や買い物支援などのために機器および機材、または福祉車両等を無料で貸し出し、コミュニティ活動および地域福祉活動の活性化、地域住民やボランティア団体等が主体的に地域での支え合い活動に取り組んでいくための体制づくりを支援した。

貸出物品	貸出件数	貸出物品	貸出件数
軽トラック	75件 (60)	ワイヤレスアンプ	47件 (35)
リフト付き送迎車	85件 (87)	DVDプレイヤー	3件 (15)
送迎車	14件 (9)	ノートパソコン	60件 (11)
血圧計	1件 (1)	プロジェクター	62件 (49)
万歩計	0件 (0)	スクリーン	38件 (44)
握力計	1件 (0)	暗幕	5件 (6)
ストップウォッチ	0件 (0)	書画カメラ	0件 (0)
体組成計	3件 (4)	綿菓子機	56件 (62)
バランスボール	0件 (0)	ポップコーン機	34件 (38)
塩分検査器	0件 (1)	かき氷機	21件 (15)
骨伝導電話機	1件 (0)	テント	6件 (7)
足指力計測器	4件 (0)	ビンゴ	23件 (27)
フロアカーリング	6件 (6)	ダーツ	3件 (1)
スロットボール	19件 (14)	発電機	12件 (1)
スマイルボウリング	11件 (15)	除雪機	0件 (0)
室内用ペタンク	6件 (6)	融雪機器	0件 (0)
室内ボールゲーム	1件 (0)	炊き出し機器	1件 (0)
グラウンド・ゴルフ	11件 (8)	D V D	2件 (0)
ターゲット・バードゴルフ	4件 (1)	C D	0件 (0)

輪 投 げ	42 件 (40)	図 書	0 件 (0)
カラオケセット	113 件 (123)		

※平成 24 年に各地区社協へ貸出していた電子血圧計は令和 2 年 2 月 18 日付で無償譲渡に切り替え。

・買い物支援事業の実施状況

	実 施 回 数	利 用 者 延 べ 人 数	ボ ラ ン テ ィ ア 延 べ 人 数
河辺地区社協	24 回 (24)	90 (81)	24 (24)
雄和地区社協	51 回 (52)	231 (225)	51 (52)

2 介護予防・交流事業の推進

(1) 地域元気アップ事業 ※ () 内は前年度実績

・地域の高齢者を対象として「地域元気アップ事業」を実施した地区社協に対して助成金を交付し、介護予防や孤立予防の推進を図った。

①健康づくり・生きがいくづくり支援事業

助成金交付 39 地区 15,797,777 円 (38 地区 15,797,777 円)

・軽スポーツ ・趣味活動 ・健康づくり ・交流事業 ・その他

②地域サロン事業

助成金交付 38 地区 2,454,000 円 (37 地区 2,395,000 円)

(2) 地域サロン強化事業 ※ () 内は前年度実績

・地域サロンのさらなる充実や拡大を図ることや高齢者や障がい者等の傾聴により社会的孤立をより一層予防し、自殺予防対策の一助とした。

助成金交付 29 地区 (29 地区) 1,300,000 円 (1,305,000 円)

サロン貸出用品購入

3 子育て支援の推進

(1) 子育て支援事業

①子育て支援用おもちゃ貸出事業

貸出件数 55 件 (前年度 110 件)

②のびのび子育て出前講話

・市内子育てサークル団体に対して、子育てに関する内容の講師を派遣し、子育て支援を図った。

31 団体 延参加者 親 188 人 子 216 人 協力者 164 人 計 568 人 (前年度 35 団体 計 854 人)

・事業の見直しをした。

③子育て支援への助成等

地区社協または地区民児協が行う子育て支援事業に対して助成を行った。

35 地区 700,000 円 (前年度 34 地区 680,000 円)

4 地域での福祉活動への支援

(1) 福祉協力員の設置および活動の推進 ※ () 内は前年度実績

・各地区社協の地域福祉活動に協力する町内会単位の福祉協力員設置の推進を図った。

設置地区数	35地区	(34)
福祉協力員数	1,206人	(1,205)

・5地区社協の福祉協力員等研修会へ参加し、福祉協力員について理解を深めてもらった。

(2) 地区社協事務担当者研修会の開催

開催日 令和2年2月18日(火)

会場 秋田市老人福祉センター

参加者 35地区 65人

内容 研修 事業内容および事務手続きについて

(3) 地域福祉活動合同研修会の開催

開催日 令和元年7月5日(金)

会場 秋田市文化会館 大ホール

参加者 地区社協関係者、民生委員・児童委員、町内会長、福祉協力員、一般市民等 約400人
(前年度 約400人)

内容 講演 「認知症サポーター養成講座 ～地域の見守り方について～」

講師 秋田市福祉保健部長寿福祉課 地域包括ケア担当 小原 千絵 氏

演劇 「見守り支え合う地域社会」 劇団ちいさなお世話

(4) 拠点づくり・事務機器整備支援事業 ※ () 内は前年度実績

・地区社協の拠点づくりの促進または拠点の強化、地区社協の事務機器の整備を支援するため助成を行った。

拠点づくり 0地区 0円、事務機器整備 7地区 210,000円

(拠点づくり 0地区 0円、事務機器整備 4地区 120,000円)

(5) 地区社協各種研修会への支援 ※ () 内は前年度実績

①地区社会福祉協議会研修支援事業

・複数の地区社協が合同で実施する研修会の開催経費や地区社協が実施する研修会で移動に要するバス等の借上げ料の助成を行った。

合同研修会の開催経費 1地区 20,000円、バス等の借上げ料 4地区 80,000円

(1地区 20,000円、バス等の借上げ料 1地区 20,000円)

②地区社協ブロック研修会

・4ブロックで地区社協役員および事務局員の研修を行う際に、その開催経費の一部を負担し、地域福祉活動についての情報交換、研修活動を支援した。

③地区社協の要望に応じ、研修会等での講話や事業の説明を行い支援した。

(6) 地区社協活動等への支援と協力 ※ () 内は前年度実績

- ①「秋田市地区社会福祉協議会連絡会」への活動支援と協力を行った。
- ② (ア) 横断幕、垂れ幕、ポスター作成の支援

地 区 社 協	35 件	(28)
地 区 民 児 協	3 件	(10)
町 内 会	18 件	(6)
福 祉 団 体 ・ そ の 他	101 件	(102)
計	157 件	(146)

(イ) 大型印刷機等の利用支援

紙を持参することにより印刷費を無償にして、活動を支援した。印刷実績 442,271 枚(151,944)

③地域福祉活動推進費の助成

39 地区 14,384,800 円 (38 地区 14,288,800 円)

5 相談支援活動の充実

(1) ふれあい福祉相談センター事業

- ・相談体制 相談員 3 名 (1 日 2 名体制)
- ・開設日数 244 日 (週 5 日 [月～金]、午前 9 時～午後 4 時)
- ・相談件数

単位:件

	生	年	職	住	家	結	離	健	医	精	人	財	事	児	教	心	母	老	苦	人	日	ひ	そ	合
	計	金	業・ 生業	宅	族	婚	婚	生	療	健	律	産	故	童	育	身	子	人	情	間	常	き	の	計
	計	金	業・ 生業	宅	族	婚	婚	生	療	健	律	産	故	童	育	身	子	人	情	間	常	き	の	計
当年度	22	5	80	10	64	0	9	49	36	310	6	8	9	0	7	120	0	36	1	36	301	1	111	1,221
前年度	31	7	139	10	79	0	6	57	37	235	4	17	7	1	6	137	3	48	3	42	228	1	102	1,200

※下記「無料法律相談」の件数は上記相談件数に含まない。

- ・弁護士による無料法律相談 ※ () 内は前年度実績

毎月第 3 月曜日 秋田市老人福祉センター (協力:秋田弁護士会)

単位:件

件 数	相 談 内 訳						
	家庭	金銭	不動産	交通事故	相続	その他	合計
60 (52)	7 (8)	17 (13)	11 (10)	1 (1)	13 (14)	12 (7)	61 (53)

※一回に複数の相談内容があったため、件数と相談内訳の合計は異なる。

- ・弁護士による無料法律相談の開催予定を広報あきたやホームページに掲載し、周知した。

6 在宅福祉サービス事業

(1) ふれあいさん派遣事業 ※ () 内は前年度実績

- ・急な病気、ケガ等の時に「ふれあいさん」を派遣し、短期間単発の生活支援をすることにより、介護予防や子育て支援につながった。

(ア) 利用状況

実利用者数	116人 (178)	男29人 女87人 (男56人 女122人)
延べ利用回数	932回 (1,193)	月平均 77.7回
利用延べ時間	1,641時間 (2,171)	月平均 136.8時間
利用平均年齢	78.3歳 (70.7)	
稼働日数	290日 (293)	
登録ふれあいさん数	9人 (12)	

(イ) 派遣理由

単位：件

内 容	病気	退院直後	ケガ	介護者不在	産前産後	その他
件 数	435 (489)	16 (13)	8 (13)	0 (1)	10 (38)	2 (2)

(ウ) サービス内容

単位：件

内 容	買物・調理	洗濯	掃除	世話	外出	見守り	薬取り	沐浴	その他
件 数	310(462)	265(342)	147(284)	143(197)	374(453)	14(58)	59(48)	39(111)	23(48)

(エ) 他制度へ移行した人数 34人

- ・事業案内のチラシや電子看板（デジタルサイネージ）放映等を活用して事業のPRに努めた。
- ・派遣内容等について継続して検討した。

(2) 移送車貸出事業 ※（ ）内は前年度実績

- ・障がい者の通院、買い物等のため移送が必要な世帯等に対し、移送車を貸出した。

台 数	2台 (2)
登 録 者 数	86人 (67)
利 用 回 数	170回 (177)

(ガソリン代は自己負担)

(3) 認知症徘徊者等への支援

①安心探知機補助事業 ※（ ）内は前年度実績

- ・認知症高齢者等の徘徊に不安を抱える世帯に対し、居場所が確認できる装置設置費用を補助した。

補助額 1セット 11,990円

補 助 件 数	1件 (0)	補 助 額 合 計	11,990 (0)
---------	--------	-----------	------------

②他の装置やシステムに対して補助できるよう検討を行った。

③各携帯電話会社を取り扱う位置情報を確認できる各種装置・サービスの情報提供を行った。

(4) 福祉機器貸出事業 ※（ ）内は前年度実績

①在宅で福祉機器を要する世帯に対して貸出した。

貸出物品	貸出件数
車 い す	156 (144)
介 護 用 ベ ッ ド	5 (3)
エ ア マ ッ ト	3 (2)
シャワーチェア	1 (0)
入 浴 台	1 (0)
浴 槽 手 す り	1 (0)
移 動 用 バ ー	2 (1)

②地域センターやコミセン等に車いすを設置し貸出を行った。

貸出件数	235件	(217)
------	------	-------

(5) 秋田市手話通訳者設置事業【市委託】 ※()内は前年度実績

・聴覚障がい者等の日常生活および社会生活におけるコミュニケーション手段のため手話通訳者を派遣した。

手話通訳者	1人	(1人)
通訳件数	600件	(636件)

(6) 日用品・介護用品の再利用

・市民から寄せられる日用品や介護用品等について円滑に再利用を図る仕組みを検討した。

7 健康・生きがいづくりの促進

(1) 秋田市老人福祉センター【市委託】 ※()内は前年度実績

ア 利用件数

個人利用者	23,601人	男 11,306人 女 12,295人
団体利用者	12,586人	1,173団体
合計	36,187人	(36,528人)
開館日数	294日	
1日平均利用者	126人	(128人)

イ 部屋別個人利用延べ人数

図書コーナー	ヘルストロン	娯楽室	浴室	録音室
1,659(2,416)	12,440(12,438)	1,147(1,140)	18,441(19,297)	111(137)

ウ 高齢者生きがい事業

・高齢者の生きがいと健康づくりのため「けやき大学」を開催した。

講座名	科目	回数	参加者延べ人数
趣味・教養	楽しい七宝焼き教室	4(4)	36人(89)
	筆ペン・ペン習字教室	5(5)	160人(133)
	フラワーアレンジ	4(4)	38人(74)
	水彩画教室	8(8)	148人(226)
健康づくり	太極拳教室	8(8)	219人(153)
合計		29(29)	601人(675)

(2) 秋田市老人いこいの家【市委託】

ア 利用件数

施設名	八橋	飯島	大森山
利用人数 男	3,089人	13,231人	12,157人
〃 女	1,980人	6,340人	10,343人
〃 子供	—	—	1,075人
計	5,069人	19,571人	23,575人
前年度	5,616人	15,182人	17,758人

開所日数	296日	296日	296日
一日平均	17.0人	66.1人	79.6人
前年度一日平均	18.8人	50.9人	59.6人

イ 利用内容

単位:人

区 分		八 橋		飯 島		大森山	
		当年度	前年度	当年度	前年度	当年度	前年度
老 人	各種会議等	221	186	69	0	56	0
	各種講習会等	942	870	85	0	0	0
	レクリエーション	571	720	1,082	0	269	167
	交流会等	0	68	7	0	131	585
	同好会等	2,674	2,855	2,286	2,093	2,822	2,709
	入 浴	-	-	10,657	11,101	9,978	6,030
	ヘルストロン	-	-	834	-	4,819	2,796
	体 育 館	-	-	-	-	4,200	3,960
	いきいきサロン	373	609	211	224	230	240
	その他	288	308	4,340	1,764	93	169
子 供	体 育 館					373	355
	子ども部屋					604	747
計		5,069	5,616	19,571	15,182	23,575	17,758

※ 浴室利用については火曜、木曜、土曜の週3日のみ

※ 八橋老人いきいきの家は浴室利用を休止。

ウ 健康相談等

健康相談	21	36	2,181	3,320	1,847	1,659
血圧測定	607	841	2,546	3,422	2,051	1,867
処 置	0	0	1	1	8	5

エ いきいきサロン

	八 橋		飯 島		大森山		雄和ふれあいプラザ	
	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数
体を動かそうADL体操	3	100	3	34	4	91	2	9
秋田民謡手踊り教室			3	34				
笑いヨガで心も体も脳も元気に	4	152						
からだイキイキ3B体操	4	121						
山の幸染め教室							2	12
折り紙教室							2	29
演歌・歌謡教室			4	124	3	66		
ネクタイで小物づくり							1	15
ラフターヨガ			2	19	4	73		
クリスマスリース							1	8
フラワーアレンジメント							1	7
ハーバリウム教室							1	8
ポーセラーツ教室							1	6
合 計	11	373	12	211	11	230	11	94
前 年 度	12	609	12	224	12	240	12	126

(3) 秋田市雄和ふれあいプラザ【市委託】 ※ () 内は前年度実績

ア 利用状況

男	729人 (726)
女	2,101人 (2,124)
計	2,830人 (2,850)
一日平均利用者数	11.8人 (11.7)
開所日数	240日 (244)

イ 利用内訳

各種会議	194人 (194)
交流会等	103人 (100)
同好会等	807人 (827)
いきいきサロン	94人 (126)
ゆうゆうくらぶ	171人 (276)
ヘルストロン	1,107人 (958)
その他	354人 (369)

8 ボランティア活動の振興

(1) ボランティアセンター事業 ※ () 内は前年度実績

① 広報誌の作成および発行

「ぼらんていあ情報」を6回(隔月)発行。

② ボランティアニーズの把握を行い、個人ボランティア、団体ボランティアの募集と登録および活動の紹介を行った。

(ア) ボランティア登録数

個人	83人 (1,207)
男	26人 (298)
女	57人 (909)
団体数	203団体 (254)
団体人数	4,199人 (5,245)
男	1,352人 (1,409)
女	2,847人 (3,836)
登録者合計	4,282人 (6,452)
男合計	1,378人 (1,707)
女合計	2,904人 (4,745)

(イ) ボランティア活動紹介件数

施設	63件 (62)
団体	23件 (23)
在宅	5件 (15)
自宅	0件 (0)
その他	9件 (3)
合計	100件 (103)

③ ボランティア養成講座の開催

小中学校の児童生徒を対象に福祉施設等で体験ボランティアを開催した。

講座名	開催回数	参加人数
チビッコボランティア	7回 (7)	111人 (118)
ジュニアボランティア	8回 (7)	25人 (39)

④ボランティア活動保険への加入状況

区 分		団体数および人数		備 考	
ボランティア		3,445人 (3,605)			
内訳	団 体	197団体 (192)	3,380人 (3,544)	秋田市負担分	589,575円
	個 人	65人 (61)			
地区社協・地域福祉関係者		2,935人 (2,861)		秋田市負担分	448,175円
				ボランティア基金	448,175円
				社協会費充当	130,900円
災害ボランティア(市外)		52人 (31)		秋田市負担分	7,625円
災害ボランティア(市内)		茨島地区浸水被害 ※前年度は大雨被害		18人 (94)	秋田市負担分 3,150円 ボランティア基金 3,150円
除 雪		353人 (385)			
内訳	団 体	9団体 (9)	314人 (337)	秋田市負担分	114,100円 社協会費充当 9,450円
	個 人	12人 (12)			
	町内会	6町内 (7)	27人 (36)		
合 計		6,803人 (6,976)		秋田市負担分	1,162,625円
				ボランティア基金	451,325円
				社協会費充当	140,350円

⑤ボランティア活動に関する情報収集や情報整理を行った。

⑥福祉施設、関係機関との連携

介護支援ボランティア制度と連動し、福祉施設との連携を図った。また、高齢者疑似体験等の貸出や講師派遣を行い関係機関との連携を深めた。

⑦ボランティア活動に関する講師派遣

令和2年1月22日 秋田大学 人権と共生ーボランティア活動論ー 参加学生130人

⑧ボランティアセンター機能の強化を図るため、運用システムを導入した。

(2) 介護支援ボランティア制度の運営 ※ () 内は前年度実績

①制度の広報、啓発

- ・秋田駅東西連絡自由通路(ぼぼろード)へポスターを掲示し市民への啓発を行った。
- ・登録講習会の開催を周知するため、リーフレットを作成し関係機関等へ配布した。

②登録講習会 10回開催(12) 参加者86人(82) 男15人(22) 女71人(60)

出張登録講習会 1回開催(2) 参加者14人(33) 男2人(1) 女12人(32)

③登録状況

	男	女	計
前年度までの登録者数	117人 (121)	369人 (376)	486人 (497)
新規登録者数	12人 (13)	50人 (51)	62人 (64)
登録抹消者数	17人 (18)	56人 (62)	73人 (80)
計	112人 (116)	363人 (365)	475人 (481)

④指定受入機関数

介護保険施設等	129施設 (121)
放課後児童クラブ・児童館・児童センター	52施設 (54)
秋田市立図書館	5施設 (5)
計	186施設 (180)

⑤ (ア) 実活動者数

117人 (281) 男 16人 (63) 女 101人 (218) ※令和2年3月の実活動者数

(イ) 延べ活動時間 19,995時間 (20,658)

⑥ ポイント活用申請の状況

ポイント申請者数	361人 (368)	
申請ポイント数	14,210P (14,200)	
換金ポイント数	13,930P (13,940)	※1P=100円
寄付ポイント数	280P (260)	※市社協への寄付 8人 (8)

⑦ 介護支援ボランティア登録者を対象として研修会を開催した。

開催日 令和元年 11月 28日 (木) 秋田県生涯学習センター 講堂 参加者 95人

内容 講演1 『健康寿命を保つために』

講師 八橋地域包括支援センター社協 職員

講演2 『健康長寿のための食生活』

講師 秋田市保健所 保健予防課 管理栄養士 若狭愛未 氏

(3) 除雪支援の実施 ※ () 内は前年度実績

- ・ 除雪ボランティアとの連携による除雪活動

除雪支援相談件数 3件 (4)

活動件数 1件 (4) ①ボランティア対応 1件 (4) ②その他の対応 0件 (0)

- ・ 除雪ボランティア登録状況

	団体数	登録人数	前年度	
団体	10団体	333人	10団体	475人
個人	—	13人	—	12人
計	10団体	346人	10団体	487人

- ・ 除雪機器等の貸出

※2 ページ「車両・除雪・災害関連用品等の貸出」参照

- ・ 除雪ボランティア等へのボランティア保険料の補助

※10 ページ「ボランティア活動保険への加入状況」参照

(4) 災害ボランティアセンターの体制整備

- ・ 災害時に迅速な災害ボランティアセンターの設置と円滑なボランティア受け入れができるよう秋田市総務部防災安全対策課と連携して「秋田市総合防災訓練」にて災害ボランティアセンター設置、ボランティア受付等の訓練を行った。

実施日 令和元年 8月 30日 (金) 秋田公立美術大学

協力 中通看護学院学生 約 40名

- ・ 令和2年2月16日夜から17日未明の大雨により秋田市茨島2丁目の住宅地で13棟が浸水被害に見舞われた。秋田市ボランティアセンターでは、被災世帯に対して早期復旧を目指しボランティアの派遣を行った。

派遣期間	令和2年2月20日～ ※継続中
派遣先	秋田市茨島2丁目
活動日数	10日
活動件数	20件
派遣人数	38名
派遣内容	家具の運び出し、移動、宅内清掃の手伝い等

(5) ボランティア活動への支援 ※ () 内は前年度実績

- ①ボランティア団体への器具・機材等の貸出
※2 ページ「車両・除雪・災害関連用品等の貸出」参照
- ②ボランティア活動保険への加入促進
※10 ページ「ボランティア活動保険への加入状況」参照

(6) ボランティア基金の運営

・秋田市ボランティア基金の運用益をボランティア団体の行う事業等に対し助成金を交付した。

①基金の状況 令和2年3月末現在

基金	123,679,000円
----	--------------

②運用益の配分

事業助成	事業内容	件数	金額
事業助成	高齢者・障害者(児)・児童等へのボランティア活動	3件	205,000円
	ボランティアの養成や啓発のための研修会・交流会	3件	86,000円
活動振興事業	市社協・ボランティアセンター事業(ボランティア保険)	1件	451,325円
合計		7件	742,325円

(7) 秋田市ボランティア連絡協議会への協力

・事務局へ協力し、ボランティア活動をしている個人・団体および関連団体の連絡調整、情報交換を支援した。

9 自立生活支援関連事業

(1) 福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)【県社協委託】 ※ () 内は前年度実績

・日常的な金銭管理や書類等の預かりサービス、福祉サービスの利用援助などを行い、判断能力が弱まってきた高齢者や障がい者を支援した。

①相談援助・契約件数

	相談援助件数	契約件数	新規契約件数	解約件数
認知症高齢者等	571 (320)	22 (22)	6 (8)	6 (10)
知的障がい者	221 (103)	4 (5)	0 (1)	1 (0)
精神障がい者	1,594 (814)	15 (14)	4 (3)	3 (1)
その他	0 (8)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計	2,386 (1,245)	41 (41)	10 (12)	10 (11)

②その他

- ・契約締結審査会への出席 12回 (12)
- ・生活支援員研修会への参加 参加者8名 (6)
- ・生活支援員 12名 活動回数579回 (460)

(2) 法人後見制度の調査研究

- ・県社協の権利擁護センター設置検討委員会へ参加し、他市町村が実施する法人後見事業および権利擁護センター等についての情報収集と課題把握を行った。

(3) 市民小口資金の貸付および償還指導等の実施 ※ () 内は前年度実績

- ・市から400万円の原資を借り入れ、一時的に生活に困っている方に対して限度額6万円まで貸付した。(貸付期間12カ月以内・無利子)

・市民小口資金の新規貸付状況

区 分	件 数 (件)	金 額 (円)
一 般 (社 協 受 付)	31 (55)	1,427,000 (2,725,000)
被 保 護 者 等	189 (216)	2,725,800 (3,253,500)
保 護 課 経 由	188 (206)	2,700,800 (2,915,500)
自 立 支 援 経 由	1 (10)	25,000 (338,000)
合 計	220 (271)	4,152,800 (5,978,500)

・市民小口資金の償還状況

区 分	現 年 度		過 年 度		計	
	件数(件)	金 額 (円)	件数(件)	金 額 (円)	件数(件)	金 額 (円)
一般(社協)	25 (41)	597,500 (1,245,000)	98 (120)	1,968,292 (2,959,076)	123 (161)	2,565,792 (4,204,076)
被保護者等	161 (169)	1,995,800 (2,330,000)	72 (63)	897,000 (883,000)	233 (232)	2,892,800 (3,213,000)
保護	160 (165)	1,970,800 (2,190,000)	69 (51)	831,000 (711,000)	229 (216)	2,801,800 (2,901,000)
自立	1 (4)	25,000 (140,000)	3 (12)	66,000 (172,000)	4 (16)	91,000 (312,000)
計	186 (210)	2,593,300 (3,575,000)	170 (183)	2,865,292 (3,842,076)	356 (397)	5,458,592 (7,417,076)

・市民小口資金の完済、未完済の状況

区 分	現 年 度		過 年 度		計	
	件数(件)	金 額 (円)	件数(件)	金 額 (円)	件数(件)	金 額 (円)
完 済	154 (171)	2,003,800 (2,739,500)	102 (118)	2,165,400 (3,091,000)	256 (289)	4,169,200 (5,822,790)
未 完 済	66 (100)	1,559,500 (2,403,500)	421 (447)	9,212,196 (10,006,488)	487 (547)	10,771,696 (12,409,988)

- ・償還遅延者に対し督促状を送付した。(9月、2月)計 834件
- ・市から補助を受け、過年度分(平成20年度分10件)の不能欠損処理を行った。

(4) 生活福祉資金等貸付事業【県社協委託】 ※ () 内は前年度実績

・相談受付状況

資金の種類	件 数
総合支援資金	92件 (110)
福祉資金	2,073件 (2,212)
教育支援資金	542件 (485)

不動産担保型生活資金	47件	(70)
計	2,754件	(2,877)

・生活福祉資金の貸付状況

資金の種類		件数	金額
総合支援資金	生活支援費	0件 (1)	— (240,000)
	住宅入居費	0件 (0)	— (—)
	一時生活再建費	0件 (1)	— (10,570)
福祉資金	福祉費	7件 (6)	1,365,000円 (4,080,924)
	緊急小口資金	11件 (12)	1,070,000円 (918,000)
教育支援資金	教育支援費	15件 (10)	15,616,400円 (15,869,000)
	就学支度費	16件 (9)	4,661,708円 (2,781,500)
不動産担保型生活資金	不動産担保型生活資金	0件 (0)	— (—)
	要保護世帯向不動産担保型生活資金	0件 (0)	— (—)
計		49件 (39)	22,713,108円 (23,899,994)

・臨時特例つなぎ資金の貸付状況 ※ () 内は前年度実績

資金の種類	件数	金額
臨時特例つなぎ資金	0件 (0)	— (—)

・事務局審査の開催 37回 (資金の借入れ、償還猶予、償還免除の各種申込みに伴う審査)

・生活困窮者自立支援事業との連携

市福祉事務所が開催する支援調整会議への参加 7回

・生活福祉資金研修会の開催

開催日 令和2年1月27日 (月)

会場 秋田市老人福祉センター

参加者 生活福祉資金担当民生委員等 31地区 58人

内容 研修「生活福祉資金貸付制度について」～困りごとから見る制度の活用方法～

秋田県社会福祉協議会 地域福祉・生活相談支援担当 鎌田 いづみ 氏

・償還指導等の実施

6月 87件、10月 166件、11月 57件、12月 129件、1月 64件、2月 43件

計 546件 (計 685件)

・新型コロナウイルス感染症の影響による生活費特例貸付の貸付状況 (令和2年3月25日～)

資金の種類	件数	金額
緊急小口資金	34件 (—)	5,700,000円 (—)
総合支援資金	0件 (—)	0円 (—)

※相談件数 (来所 47件、電話 62件)

(5) 生活困窮者への食支援 ※ () 内は前年度実績

①緊急食支援事業

市民小口資金等へ該当しなかった方や制度申請中の方で、その日の食事のままならない方々に対して食料品の支給と思い立った時に相談できるよう専門相談機関の一覧を配布した。

支援対象数 58件 79名 (51件 61名)

②フードドライブへの協力

家庭で余剰な食べ物を秋田市老人福祉センター内の食品回収箱に持ち寄ってもらい、それら

をフードバンクあきたへ受け渡しした。

受け渡し状況 米、乾麺、飲料、缶詰、お菓子など 計 815 点(678 点)

③コープフードバンク事業への協力

生活困窮などにより食品等を必要としている世帯を把握したときに、コープフードバンク（コープ東北サンネット事業連合）から必要なものを無償提供してもらう事業に協力した。

困窮世帯への支援 14 件（27 件）

(6) 罹災世帯への見舞金支給

・罹災世帯に対して見舞金を支給した。

罹災区分	罹災世帯数	見舞金額
全焼件数	7 件	140,000 円
半焼件数	3 件	30,000 円
床上浸水件数	11 件	110,000 円
計	21 件	280,000 円
前年度	155 件	1,610,000 円

10 福祉啓発・情報提供の充実

(1) 広報活動 ※（ ）内は前年度実績

・「社協だより」を発行し、全戸へ配布した。

発行回数	1 回 (1)	発行部数	114,000 部 (115,000)
------	---------	------	---------------------

・ミニ広報誌を発行し、地区社協、地区民児協、市民センター、地域センター、コミセンへ配布した。

発行回数	1 回 (1)	発行部数	2,062 部 (1,758)
------	---------	------	-----------------

・秋田市社協のホームページの更新頻度を上げ、内容の充実を図るとともに事業等の「見える化」に努めた。

アクセス件数 114,443 件 (108,962) (ホームページアドレス <https://www.akita-city-shakyo.jp/>)

・フェイスブックページの開設。

※フェイスブックは、ソフトウェア（アプリケーション）を利用して、多くの人に情報の発信・共有・拡散ができるサービスです。

(2) 社会福祉大会の開催

開催日 令和元年 11 月 8 日（金）

会場 秋田市文化会館 大ホール

参加者 地区社協関係者、民生委員・児童委員、町内会長、福祉協力員、福祉団体関係者、秋田市民 約 650 名

テーマ 「広げよう 命を守る 地域の絆」
～平成から令和へつなぐ地域福祉をみんなの手で～

行事 式典、福祉功労者の表彰
アトラクション

寸劇「犯罪、交通事故から、高齢者を守る！！」

秋田中央警察署交通課、高齢者安全安心アドバイザー

講演

「おせっかいに愛を込めて」

講師 一般社団法人 おせっかい協会

会長 高橋 恵氏

(偉人志語り…講師の半生を紹介) じっぽん-Jippon 山崎愛実

その他 わたりジョーズ君 (秋田中央警察署)

おせっかいカフェ (エイジフレンドリーあきた市民の会)

(3) 福祉教育の推進 ※ () 内は前年度実績

- ・職場体験学習の受入れ 中学校 4校 (6) 13名 (22)
- ・バリアフリー教室への協力 小学校 10校 (10) 754名 (609)
- ・機材の貸出状況

	貸出件数	延べ数
車 い す	23件 (29)	128台 (48)
高齢者疑似体験セット	14件 (18)	47台 (70)
視覚障がい者体験グラス	19件 (13)	20台 (55)
ア イ マ ス ク	18件 (13)	442枚 (372)

(4) 地域福祉フェア

- ・地域福祉フェア開催のための会場や展示内容について情報収集を行った。

1.1 介護保険等事業の充実

(1) ホームヘルパー事業

ア 利用状況

	障害者 総合支援	総合 事業	介 護 保 険							計	前年度
			要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
延べ人数	504	16	609	573	842	554	152	78	18	3,346	3,626
延べ利用回数	8,601	98	3,186	3,617	7,772	7,861	3,520	1,753	160	36,568	38,939

イ 人員体制 (3月末現在)

常勤	契約	非常勤	登録	計	前年度
9	14	4	36	63	67

ウ ガイドヘルパー数

登録数
3

(2) 秋田市障害児者日中一時支援事業 ※ () 内は前年度実績

会場 きらり支援学校

3月末利用者数	延べ利用者数	月平均	延べ利用回数	月平均	従事者数
2人 (5)	37人 (52)	3.1人 (4.3)	392回 (448)	32.7回 (37.3)	常勤1人、登録6名

※令和2年4月から利用者がいないため、市委託廃止。

(3) 居宅介護支援事業

ア 利用状況

		総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	前年度
秋田	延べ人数	553	134	205	1,098	724	455	463	141	3,773	3,726
	月平均	46.0	11.1	17.0	91.5	60.3	37.9	38.5	11.7	314.4	310.5
河辺	延べ人数	0	0	0	490	360	308	167	84	1,409	1,338
	月平均	—	—	—	40.8	30.0	25.6	13.9	7.0	117.4	111.5
せせらぎ	延べ人数	0	0	0	486	238	148	113	66	1,051	1,033
	月平均	—	—	—	40.5	19.8	12.3	9.4	5.5	87.5	86.0

イ 人員体制 (3月末現在) ケアマネジャー数 秋田 10 人、河辺 4 人、せせらぎ 4 人

ウ 実習生受入状況

居宅介護支援秋田事業所：介護支援専門員実務研修 1 人

(4) 通所介護事業

ア 利用状況

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	前年度
河 辺	実 人 員	28	73	269	130	82	52	4	619	619
	延べ利用回数	111	505	2,080	1,028	725	476	61	4,986	5,126
八 橋	実 人 員	139	111	331	294	74	34	9	992	1,001
	延べ利用回数	650	738	2,131	2,197	550	164	59	6,489	8,142

イ 人員体制 (3月末現在)

- 【河辺】管理者 1 名 (介護職員を兼務)、生活相談員 4 名 (常勤専従 1、常勤兼務 3)、看護職員 2 名 (常勤兼務 1、非常勤兼務 1)、介護職員 8 名 (常勤専従 1、常勤兼務 5、非常勤専従 2)
- 【八橋】管理者 1 名 (介護職員を兼務)、生活相談員 3 名 (常勤専従 1、常勤兼務 2)、看護職員 3 名 (常勤兼務 1、非常勤兼務 2)、介護職員 10 名 (常勤専従 3、常勤兼務 3、非常勤専従 4)

ウ 実習生等受入状況

八橋デイサービスセンター：延べ 40 人 (秋田市医師会立看護学校)

(5) 秋田市地域包括支援センター運営事業

八橋・河辺・川元地域包括支援センター (地域型)

単位：件

	総合 相談	権 利 擁 護	ケ ア 会 議	申 請 代 行	地 域 連 携等	予 防 プラン	内プラン の委託
八橋地域包括支援センター社協	585	32	6	289	30	3,265	2,191
河辺地域包括支援センター社協	310	32	2	177	7	1,092	267
川元地域包括支援センター社協	522	37	3	201	73	2,528	1,782

ア 実習生等受入状況

・八橋地域包括支援センター社協：延べ 18 人

- (秋田大学医学部保健学科、秋田市医師会看護学校、日本赤十字秋田看護大学、秋田県看護協会)
- ・河辺地域包括支援センター社協：延べ4人
(秋田大学医学部保健学科、日本赤十字秋田看護大学)
- ・川元地域包括支援センター社協：延べ10人
(秋田大学医学部保健学科、秋田市医師会看護学校、日本赤十字秋田看護大学)

イ 認知症サポーター養成講座への講師派遣

- ・八橋地域包括支援センター社協：7事業所 112人参加
- ・川元地域包括支援センター社協：2事業所 123人参加
- ・河辺地域包括支援センター社協：1事業所 6人参加

ウ 認知症予防事業等

(八橋地域包括支援センター社協)

- ・「アタマとカラダの健康教室」

認知症地域支援推進員を配置して、認知症予防のため活動を通じて、地域住民との交流促進および生きがいがづくりの機会を設け、認知症予防に自ら取り組む地域づくりを支援した。

実施期間 令和元年7月9日～令和元年12月24日 毎月第2・4火曜日

実施内容 コグニサイズ(有酸素運動と認知課題を組み合わせたエクササイズ)・脳トレ

実施回数 12回、利用実人数 15人、利用延人数 159人

(河辺地域包括支援センター社協)

- ・認知症カフェ「あんでけれえ かわべ」を開催

東圏域4包括合同で、MCI軽度認知症の方とその家族を対象に、わらび採りや枝豆植え付けから収穫の作業を通じ、その方の能力を活かした生きがいがづくりの場を支援した。

実施回数と参加人数 5/22 13人、6/11 6人、10/11 8人

- ・圏域内の16か所の地域サロンや地区組織の会合で認知症予防や権利擁護について周知を図った。

(6) 地域型はつらつくらぶ事業 ※ ()内は前年度実績

・高齢者の運動器の機能向上、閉じこもりの防止、介護予防一般に関する知識の普及啓発を図り、要介護状態になることの予防と生き生きとした生活を支援した。

	八橋包括	河辺包括	川元包括	計
実施回数(回)	9 (9)	0 (12)	9 (8)	18 (29)
利用者実人数(人)	12 (22)	0 (25)	20 (25)	32 (72)
利用者延人数(人)	94 (167)	0 (209)	133 (148)	227 (524)

【実施内容】

八橋	ストレッチ、椅子やマットを使用した運動、体力測定、コグニサイズ、健康講話
川元	体力測定、いきいきヘルス体操、ステップ体操、ストレッチ、講話(腸の健康他)

(7) 通所型介護予防フォローアップ事業

二次予防事業の参加者が、事業終了後も主体的かつ継続的に介護予防に取り組むことにより、居宅において自立した活動的で生きがいのある日常生活を営むことができるように支援した。

- ・河辺地域包括支援センター社協

実施内容 運動機能向上(簡易器具を使用したトレーニング・ストレッチ)

支援回数 24回、延べ参加者数 90人

- ・川元地域包括支援センター社協

実施内容 運動機能向上（簡易器具を使用したトレーニング、ストレッチ、意見交換）

支援回数 24回、延べ参加者数 63人

（8）秋田市高齢者生活支援体制整備事業

八橋・河辺・川元の圏域において、生活支援コーディネーター1名を設置して、生活支援サービスの担い手の養成・発掘等の地域資源の開発やネットワーク化を行った。

〔八橋〕

- ・生活支援コーディネーターが、地域包括支援センターや地区社協の協力員と情報共有と、地域の各種団体の行事に行き、既存のサロンでの聞き取り等により地域課題や地域資源の把握を行った。
- ・集いの場立ち上げ支援（ラジオ体操のつどい、男性の料理教室）
- ・八橋旭北高齢者ささえ愛協議会（協議体）を八橋地区1回、旭北地区1回、合同2回計4回開催し、意見交換により、地域で取り組むことの絞り込みをした他、アンケートの集計結果やこれまでの成果の総まとめをし、共通理解を図った。
- ・町内会単位の座談会（八橋2回座談会とDVD上映会、旭北2回座談会と映画鑑賞会）で住民の集いの場の情報や困りごと等の課題の把握を行った。
- ・圏域内の住民と関係機関に広報紙「ささえあい通信」を2回発行し、事業や立ち上げた集いの場の周知等を図った。

〔河辺〕

- ・ささえ愛せせらぎ協議会（協議体）を4回開催した。
- ・居場所づくりのためのきっかけづくり教室等の開催 ※（）内は前年度実績

教室等名称	開催回数	参加延べ人数
ウォーキング教室	6回	85人（56人）
ダンディ・クッキング	5回	33人（30人）
スロージョギング教室	43回	711人（624人）
昭和歌謡カラオケと会話を楽しむ会	11回	38人

- ・2町内サロンで地域支えあいマップを作成し、各町内の状況を確認した。
- ・広報誌「生活支援コーディネーター通信」を3回発行し、河辺圏域に配布。（1回2,700部）
- ・協議体主催でサロン情報交換会実施 49人参加
内容 介護体験発表、地域の状況や認知症への取り組みについて説明、サロン同士の情報交換（グループワーク）

〔川元〕

- ・生活支援コーディネーターが、アウトリーチ、ネットワークの構築、地域資源の把握や創出、地域づくりの意識の統一を目的として活動した。
- ・川元包括圏域きずな会（協議体）会議を、旭南、川尻の地区ごとに開催した。
- ・川元包括圏域きずな会（協議体）全体会議を2回開催し、地区ごとの活動を報告し、統合を図った。
- ・各種地域団体の会合やイベント等に参加し、情報交換を行い、地域課題の把握に努め、連携を図った。
- ・協力員からの報告書と、把握した地域課題について、協議体へフィードバックし、共有できた。
- ・創設した通いの場「旭南のつどい」の参加者が増え、自主化にむけた支援を実施した。
- ・定期的なサロン開催の支援を実施した。（茨島双葉町町内会）
- ・広報紙「川元包括圏域きずな通信」を2回発行し、各関係機関に配布したほか、町内会長を通じて全戸回覧した。

- ・圏域居宅介護支援事業所の介護支援専門員へ地域資源や集いの場について情報提供した。

1 2 連携による推進支援

(1) 市民児協との連携

- ・市民児協と共催で秋田市社会福祉大会を開催した。
- ・市民児協と連携のもと、見守りネットワーク事業を実施し、地域福祉の充実を図った。
- ・平成 31 年 4 月 25 日の市民児協理事会において「秋田市地域福祉アクションプラン 2019」について説明した。
- ・令和元年 8 月 22 日に市社協・市民児協の正副会長の懇話会を開催し、「秋田市地域福祉アクションプラン 2019」について情報交換を行った。
- ・令和元年 10 月 2 日～3 日の市民児協役員研修（千葉県市原市）に市社協職員が参加した。
- ・令和元年 11 月 25 日の市民児協理事会において「除雪支援等」について説明した。

(2) 秋田市地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会への協力

- ①事務局への協力
- ②ホームページ運用への協力

(3) 社会福祉法人・福祉施設等との連携

①「秋田市地域福祉おむすびネット」の実施

- ・地域における公益的な取り組みメニューを提示した「秋田市地域福祉おむすびネット」により、社会福祉法人と連携し、地域の課題解決と地域福祉力の強化に努めた。

登録法人	12 法人 (8)
メニュー選択	53 施設 (34)

※取組内容：安心キット事業への協力、ボランティア受入、講座等への専門職派遣、災害時支援など。

②市内社会福祉事業従事者スポーツ大会および合同交流会の開催

- ・秋田市内社会福祉事業従事者スポーツ大会と合同交流会を開催し、福祉意識の高揚と連携を図った。
(令和元年 9 月 26 日 (木)、令和元年 10 月 9 日 (水) 開催 参加者延べ人数 810 人)
- ・スポーツ大会ふれあいニュースを発行 (令和 2 年 2 月 500 部) し、市内福祉施設へ配布した。
- ・秋田市内社会福祉事業従事者スポーツ大会実行委員会を開催した。
(令和元年 6 月 21 日、令和元年 11 月 15 日)

③秋田市老人福祉施設連絡協議会への協力

1 3 組織運営と財政基盤の強化

(1) 理事会、評議員会等の開催 ※ () 内は前年度実績

理事会	3 回 (2)
評議員会	2 回 (2)
監事会	1 回 (1)
正副会長会	3 回 (3)

※内、3 月の評議員会はコロナウイルス感染症拡大防止の観点から、提案に対して評議員全員の書面による同意により議決した。

(2) 委員会等の開催

- ①「ボランティア基金管理運営委員会」の開催（令和元年7月9日）
- ②「表彰者審査委員会」の開催（令和元年8月22日）
- ③「評議員選任・解任委員会」の開催（令和元年5月31日）

(3) 組織運営体制の強化

- ①諸規程の改正を行い、運営体制の整備を図った。
- ②法人後見事業の実施に向けた検討とあわせて、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置の検討を行った。

(4) 事業計画の評価点検

事業計画の評価点検を行い、秋田市地域福祉アクションプランの進行を管理した。

1.4 財源の確保

(1) 会員加入の促進

- ア 一般会員の状況（R2.3.31現在） 39地区 89,905世帯 × 360円 = 32,365,800円
 （※前年度実績 38地区 89,305世帯 × 360円 = 32,149,800円）
- イ 特別会員の状況（R2.3.31現在）

区 分		会員数	口数	会 費	前 年 度		
					会員数	口数	会 費
人	地区社協役員	296名	296口	296,000	298名	298口	298,000
	民生委員・児童委員	714名	714口	714,000	714名	714口	714,000
	福祉施設職員	26名	38口	38,000	36名	44口	44,000
	一般市民	44名	68口	68,000	58名	85口	85,000
	市・社協職員	250名	252口	252,000	262名	263口	263,000
小 計		1,330名	1,368口	1,368,000	1,368名	1,404口	1,404,000
団 体	地区社協	39団体	39口	195,000	38団体	38口	190,000
	社会福祉事業施設	53団体	70口	140,000	51団体	68口	136,000
	社会福祉団体	28団体	35口	70,000	28団体	35口	70,000
	企業・法人	30団体	33口	330,000	29団体	32口	320,000
小 計		150団体	177口	735,000	146団体	173口	716,000
合 計		1,480	1,545口	2,103,000	1,514	1,577口	2,120,000

(2) 共同募金への協力

- ①共同募金の助成を受けて事業を行っていることをPRし、市民の意識の高揚を図った。
- ②秋田市共同募金委員会事務局へ協力し、地域福祉活動のための財源確保に努めた。

(3) 善意銀行の運営 ※（ ）内は前年度実績

・市民の善意で預託された一般寄付金や指定寄付金等は、地域貸出用車いすや在宅福祉事業に充てるとともに福祉事業基金の原資として積み立てをした。

一般 寄付金	篤志寄付	38件 (32)	894,327円	(927,255)	
	香典返し	5件 (1)	190,000円	(100,000)	
	計	43件 (33)	1,084,327円	(1,027,255)	
指定 寄付金	一円玉寄付金	1件 (1)	24,000円	(24,000)	交通災害遺児激励金に充当
	その他指定寄付金	2件 (8)	845,250円	(713,273)	
	計	3件 (9)	869,250円	(737,273)	
合計		49件 (42)	1,953,577円	(1,764,528)	

・その他（寄付物品等）

- ・手作りお手玉 300個 (秋田市母子寡婦福祉連合会 夢クラブ)
- ・タオル 53枚 (柳町町内会女性部)
- ・カレンダー 約3,000部 (株くまがい印刷)
- ・タオル 112枚 (寺内小学区社会福祉協議会)
- ・車イス 10台 (秋田市総合振興公社)

(4) 基金および積立金の運用

- ・国債により運用した。(ボランティア基金積立資産、福祉事業基金積立資産、居宅介護等積立資産)
- ・佐賀県豪雨災害義援金として、福祉事業基金から50,000円を支出した。
- ・台風15号・19号・大雨災害義援金として、福祉事業基金から300,000円を支出した。
ボランティア活動支援金として、福祉事業基金から200,000円を支出した。
(オープンジャパン、にいがた災害ボランティアネットワーク、ウェザーハート災害福祉事務所)

1.5 役職員の資質の向上と派遣

(1) 役職員研修

- ・役職員が秋田県社会福祉大会の講演会(秋田市)へ参加し、研修した。
- ・新任職員研修を実施した。
- ・研修計画等に基づき各種研修会へ参加し研修した。

(2) 研修会への参加

- ・職員の資質向上のため各種研修会へ職員参加。

(3) 役職員派遣

- ・地区、団体等の要望により役職員を講師派遣および行事へ派遣した。

1.6 その他

(1) 秋田市河辺総合福祉交流センター管理事業【市委託】 ※()内は前年度実績

・利用状況

内容	会議室等					屋外
	福祉関係	保健関係	社会・教育	その他	合計	グラウンド ゴルフ
件数	189 (179)	18 (14)	52 (56)	24 (26)	283 (275)	80 (77)
人数	3,352 (3,097)	1,710 (935)	1,961 (2,819)	3,095 (751)	10,118 (7,602)	976 (934)

(2) 被災地への職員派遣

- ・令和元年10月12日に発生した台風19号により、記録的な大雨となり東日本各地でも甚大な被害に見舞われた。被災県では災害ボランティアセンターの運営が十分確保できないことから、秋田県社協の依頼を受けて福島県・宮城県へ職員派遣した。

派遣期間	令和元年10月25日～12月6日
派遣先	福島県本宮市、いわき市、宮城県丸森町
派遣人数	4名
派遣内容	災害ボランティアセンター運営補助、生活福祉資金受付補助

社 協 活 動 主 要 記 録

令和 年月日	主 要 事 項	開催場所等
1. 5. 14	正副会長会(事業報告および収支決算等)	秋田市老人福祉センター
17	監事会	〃
	飯島南地区社会福祉協議会設立総会	飯島南コミセン
23	理事会(事業報告および決算認定等)	秋田市老人福祉センター
31	評議員選任・解任委員会(評議員の選任について)	〃
6. 7	定時評議員会(事業報告および決算認定等)	〃
18	理事会(会長の選任等)	〃
24	秋田市地区社会福祉協議会連絡会総会および研修会	〃・宮城県気仙沼市
7. 5	地域福祉活動合同研修会	秋田市文化会館
9	秋田市ボランティア基金管理運営委員会	秋田市老人福祉センター
30	秋田市体育協会チャリティータンゴゴルフ贈呈式(寄付金)	〃
30	第1回秋田市社会福祉大会打合わせ会	〃
8. 22	正副会長会(懸案事項)	〃
22	秋田市社会福祉大会表彰者審査会	〃
22	市社協・市民児協正副会長懇話会	〃
30	秋田市総合防災訓練・災害ボランティアセンター設置訓練	秋田公立美術大学
9. 26	秋田市内社会福祉従事者スポーツ大会(ソフトボール)	向浜四面球場
10. 9	秋田市内社会福祉従事者スポーツ大会(バレーボール)	CNAアリーナあきた
9	秋田市内社会福祉従事者合同交流会	イヤタカ
11. 2	桜雅会歌と踊りのフェスティバル(寄付金)	秋田テルサ
6	地区社協連絡会Aブロック情報交換会	協働大町ビル
8	秋田市社会福祉大会	秋田市文化会館
12. 1	あずさ愛福祉歌謡祭贈呈式(寄付金)	〃
6	真如苑寄附贈呈式(寄付金)	秋田市老人福祉センター
7	秋田市PTA連合会「一円玉福祉募金」贈呈式	〃
23	くまがい印刷贈呈式(カレンダー)	〃
24	東部ガス寄付贈呈式(寄付金)	秋田県社会福祉会館
2. 1. 24	秋田市地区社会福祉協議会連絡会第2回研修会	協働大町ビル
2. 7	Bブロック地区社協研修会	イヤタカ
18	地区社会福祉協議会事務担当者研修会	秋田市老人福祉センター
20	Cブロック地区社協研修会	アキタパークホテル
	茨島浸水被害への支援を開始	茨島2丁目
21	Aブロック地区社協研修会	松下茶寮
28	Dブロック地区社協研修会	アキタパークホテル
3. 9	秋田市総合振興公社贈呈式(車椅子)	秋田市老人福祉センター
11	正副会長会(補正予算、事業計画および予算等)	〃
19	理事会(補正予算、事業計画および予算等)	〃
25	特例貸付 開始	〃